

(熊本県立高森高等) 学校 令和5年度(2023年度) 学校評価計画表

<p>1 学校教育目標</p> <p>地域社会と連携し、自然・文化・伝統を継承・発展させる活動に取り組み、高い意識をもって地域創生や地域貢献を担うグローバルな視点を持った、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。</p> <p>【学校経営目標】</p> <p>(1) 幼保小中高連携による発展的な英語教育とICT特定推進校としての発展的なICT活用教育を実践する。</p> <p>(2) クリエイトハイスクール指定校として地元自治体や企業等と連携・協働した探究的及び創造的な質の高い学びを実践する。</p> <p>(3) マンガ学科の設置及び普通科グローバル探究コースの開設により、地域活性化策に連動した新たな学びによる特色化を図る。</p>

<p>2 本年度の重点目標</p> <p>①新学科「普通科グローバル探究コース」「マンガ学科」の魅力高める教育活動を推進する。</p> <p>②地元自治体や企業等と連携・協働した探究的かつ創造的な質の高い学びを実践する。</p> <p>③すべての教育活動において、ICT活用など先進的な学びを実践する。</p>
--

3 自己評価総括表				
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策
大項目	小項目			
学校経営	働き方改革を意識した業務改善に取り組む	持続可能な組織的な学校運営の構築	分掌部内外の業務改善案を各部から最低1つずつ2学期までに提案し、改善を図る。	○各学期の業務振り返りを行い、改善案を提示する。 ○分掌部内の業務に関して、生徒各種委員会の活用を実践する。
	本校の魅力発信に取り組む	マンガ学科及び普通科グローバル探究コースの入学生確保のための組織的な取組	本校の日常的な教育活動をSNSや特設スタジオの活用により、定期的に情報発信する。	○オープンスクール・上級学校説明会も含め、高森町、コアミックス社、県教委と連携し生徒募集を行う。 ○TPCと連携し、校内スタジオを活用した、本校の魅力発信動画を作成し、情報発信を行う。
学力向上	授業の充実	生徒が自ら学びに向かう力を育む教育活動の研究	本校の目指す生徒像や各教科・科目の目標を反映した授業づくりおよび授業評価の研究を行う。	○教科・科目を超えて授業づくりを行う体制を確立する。 ○マクロルーブリックと連動した授業評価を作成する。

		個に応じた教育環境と学習支援体制の充実	基礎学力向上に向けて、3年間を通して系統的に取り組む体制を整える。	○ICTを活用した基礎学力向上の取組みについて研究を行う。 ○特別支援の視点を取り入れた授業デザインを提案する。
キャリア教育 (進路指導)	生徒の主体性を育むキャリア教育を推進する	地域連携事業とキャリア教育の一体化	総合的な探究の時間の各局が外部機関との協力関係を築き、地域との連携を図る。	○7月に探究活動の報告会を実施し、活動における評価を受ける。 ○探究活動について、学期ごとに生徒と職員による相互評価を行い、活動の振り返りや自身の個性・適正等を考える場を設ける。
		体系的な進路指導の確立	活動報告書と進路のしおりを改定する。	○取組について見通しや振り返りができるように、現在使用している活動報告書と進路学習ノート「進路のしおり」を改定し一本化する。
生徒指導	自らの強みを活かし、集団を意識して「自律的」に行動できる力を育成する	保護者（家庭）と連携した情報モラル教育の推進	情報機器の使用から生徒の命や人権、生徒の家庭を守ることを意識して、情報機器関係の取扱のルールを見直し、今年度中に提示する。	○情報モラル教育の啓発を推し進めていくため、講師を招聘し、学習する場を作る。 ○生徒会と後援会（PTA）それぞれで、情報機器安全利用のための取組のルールを定めている。今の現代に合うルールになるよう見直し、互いに共有し、実践につなげる。
		生徒委員会活動の構築による自治活動（自律）の確保	生徒会・生徒各種委員会が「自律」を意識して活動し、リーダーを育成しながら生徒主体の企画・運営を積極的に行う。	○生徒心得（校則）の理解を深めながら、生徒会が中心となり、保護者と教師、三者で協働し見直しを行う。 ○生徒各種委員会での取組が活発になるようこれまでの活動を見直し、新たなことにチャレンジし、実践につなげる。

人権教育の推進	命を大切にすることを育む指導の充実を図る	多様性を認め、自他を尊重し行動できる人権感覚の育成	文部科学省が推進するWell-Being（健康と幸福感）を取り入れ、生徒・職員・保護者が心身共に有用感を感じ、自尊感情が高まる取組を実践する。	○職員が生徒へ「自分を語る」ことを目的とした、毎月1回の全校集会を開催する。 ○自他の大切さに気づき、自他を認める取組として、自分の想いを綴る人権作文や人権レポートを生徒・職員全員が作成する。
いじめの防止等	いじめを見逃さない、いじめを許さない態度を育成する	組織的な未然防止と早期発見	年間3回の「心のアンケート」と生徒理解研修を実施し、いじめの未然防止と早期発見に繋げる	○心のアンケートの結果を基に、SCを交えた職員研修を年間3回実施する。 ○心の不調が見られる生徒や欠席が続く生徒については、SCや担任との面談の機会を確保し、いじめが起因していないか早期発見に努める。
地域連携(コミュニティ・スクールなど)	地域との連携強化による本校教育の特色化を図る	普通科グローバル探究コースとマンガ学科の教育の特色化(魅力化)の構築と、これまで築き上げてきた本校教育の良さの再発見	魅力化委員会が主査となり、高森町、コアミックス社、県教育委員会との四者での連携協定に基づいた魅力化を推進する。	○四者による本校の魅力化に向けた定期的な会議を開催する。 ○生徒・保護者・地域・教育委員会の意見を集約し、改善に活かす。
健康管理・安全管理	健康教育・保健教育を推進する	生活習慣の形成と心身の健康に関する生徒自身の自己管理能力の育成	定期健康診断の事後措置を徹底し、昨年度の歯科受診率55%を上回ることを目指す。特に3年生においては、卒業後を見据えた健康面での自己管理能力を育成する。	○未受診理由を把握し、個別の受診指導を行う。 ○保健委員による保健だよりの発行や文化祭発表による保健指導を行う。
	環境教育と防災教育を推進する	生徒・職員の安全に対する意識の高揚	4月の防災月間により充実した防災教育を実施し、全生徒と職員の防災意識をより向上させる。更に現在運用している危機管理マニュアルを実用的なものに改訂する。	○防災避難訓練・消火器使用訓練を実施する。 ○1年生対象にAED講習会を実施する。 ○災害の際の初期動作等の危機管理マニュアルを改訂し、職員に周知徹底する。